

大学における留学生・日本人学生に対する意識調査について

岡 隆光*, 崔 大龍*, 井上 正人**, 前原 俊信***

Survey on Consciousness Differences of Foreign and Japanese Students Toward University Education

Takamitsu Oka*, Dae-Ryong Choi*, Masato Inoue**, Toshinobu Maehara***

The authors researched a survey on consciousness differences of foreign and Japanese students toward university education. The survey was performed in the form of sending out newly developed questionnaires on the view of university education, the view of occupation, and the view of life, to foreign and Japanese students. In the analysis of the results using various methods, the views of whole university students and the differences between foreign and Japanese students were identified and clarified. The findings here should be able to help educators to improve teaching methods in the university.

Key Words (キーワード)

University education (大学教育), Foreign and Japanese students (留学生と日本人学生),
Consciousness (意識), Survey (調査), Self-Organizing Maps (自己組織化マップ)

1 はじめに

情報技術の進展により経済のグローバル化が促進され、物的交流をはじめ人的交流や文化の交流が益々盛んになってきている。日本の企業が生産拠点を中国などの海外に移しつつあるなか、かなりの数の外国人が日本に入ってきている。この中には、日本の優れた知識や科学技術を学ぼうとする留学生も含まれている。我が国は、知的国際貢献をめざして「留学生受入れ10万人計画」を策定し、留学生を受け入れてきた。その結果、留学生数は年々増加し、2001年には約7万9千人に達した。¹⁾そして、この内の56%が中国、19%が韓国からの留学生である。

留学生が持っている教育に対する考え方、職業に対する考え方、更には人生観について知ること

は、教育を行う上で重要である。これらに対する考え方は、留学生が元々所属していた社会の生活環境、その社会が有する社会的価値観等から大きな影響を受けており、日本人の学生と大きく異なる可能性があるからである。

例えば、2002年に日本青少年研究所が行った「高校生の未来意識に関する調査」²⁾によると、高校生が希望する教育水準は、日本では「4年制大学まで」が36%とトップであるのに対して、中国では60%が「大学院まで」を希望していた。さらに、職業選択の基準では、日本では「安定した仕事」、「趣味がもてる仕事」、「人間的な触れ合いを期待できる仕事」が重視されるのに対して、中国では「趣味がもてる仕事」が断然トップであった。また、大学生を対象とした職業意識調査によると「成功は自分の努力によるもので、他人に頼らな

* 呉大学社会情報学部 (Faculty of Social Information Science, Kure University)

** 海上保安大学校 (Japan Coast Guard Academy)

*** 広島大学教育学研究科 (Graduate School of Education, Hiroshima University)

い方がよい」に賛成と答えた日本人は 23 %であったのに対して、中国人では約 3 倍の 78 %であった。³⁾

私達の研究グループは、日本の大学で学んでいる留学生と日本人学生に対して、大学教育に対する考え方、職業に対する考え方、人生観などについてアンケート調査を行い、留学生と日本人学生の持っている意識の差について調べた。この調査結果を分析し、教授方法の改善に役立てることができれば、留学生と日本人学生双方の大学生生活の満足度を高めることが期待できると考えられる。

2 アンケート調査について

次のような方法でアンケート調査を行った。

・ 2002 年 10 月

・ 対象者

大学 1, 2, 3 年生

・ 調査方法

アンケート用紙を配布し、マークシート方式で記入（留学生に対しては、必要に応じて、それぞれの母国語（中国語、韓国語）で解説）

・ 有効回答数

留学生 48 名

（うち、中国籍は 43 名）

日本人学生 114 名

合計 162 名

この論文では、実施したアンケートの中から

「大学教育についての考え方」、「仕事についての考え方」、「仕事の報酬についての考え方」、「人生観などについて」の 40 問を抜粋し、主に「考え方」について比較検討を試みて行く。アンケート調査質問項目（抜粋）を付録 1 に掲載した。質問に対する答えは、4 段階、すなわち「1. ほとんど思わない」、「2. あまり思わない」、「3. やや思う」、「4. 非常に思う」の形で回答させた。

3 調査結果について

まず、問 1 から問 40 までの回答結果の全体像を概観するために 4 段階の回答を、肯定的な回答数（3 及び 4 と回答したものの和）と否定的な回答数（1 及び 2 と回答したものの和）の 2 段階で日本人学生と留学生に分けて集計した。集計結果を図 1 に示す。ここで縦軸は、肯定的な回答をしたものの割合をパーセントで表した数値であり、横軸の番号はそれぞれ問の番号である。

3-1) 大学教育についての考え方（問 1 から問 10）

留学生と日本人学生で傾向が違うのは、問 6（大学院に進んで、もっと専門的なことを勉強したい）、問 7（社会人になっても、必要があれば大学でもう一度学ぶ）である。留学生は、将来にわたって学習する意欲が高いことが分かった。この傾向は、前に述べた中国の高校生の 60 %が大学院までの進学を希望しているとの調査結果²⁾と同じである。また、問 4（現在受けている大学での

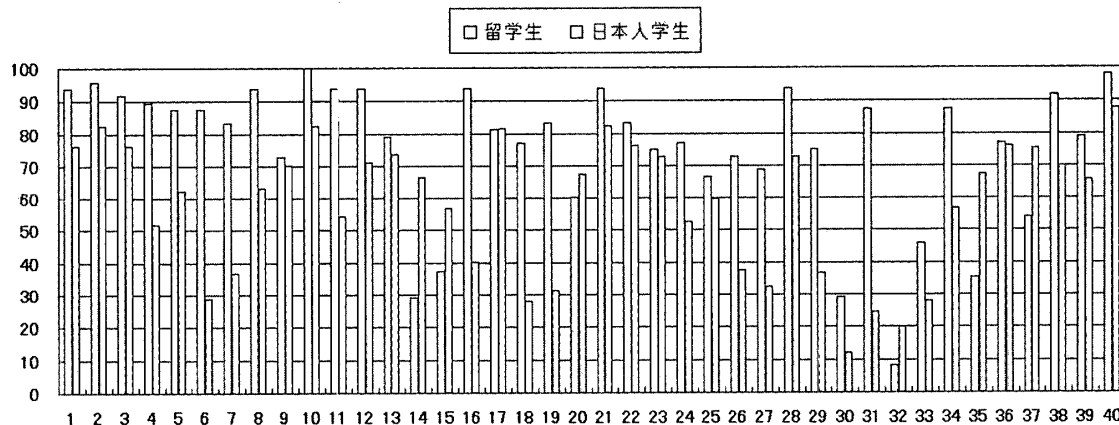


図 1 肯定的な回答をしたものの割合

教育は、就職後役立つか)では、殆どの留学生は就職後役立つと思っているのに対して、日本人学生は約半数しか役立つと思っていない。全体として大学教育への期待は、留学生の方が日本人学生よりかなり高いことが明らかになった。

M. トロウは「高学歴社会の大学」の中で当該年齢人口に占める大学在学率の割合に応じて、大学を3つのカテゴリー、即ち、「エリート型」、「マス型」、「ユニバーサル型」に分けて論じ、高等教育の目的観として、それぞれ「人間形成・社会化」、「知識・技能の伝達」、「新しい広い経験の提供」を挙げた。⁴⁾ 調査した留学生の大学教育への期待の高さや中国での大学進学率が10%以下であること等を考え合わせると、これら留学生は、「エリート型」の意識を持っていると思うことができる。

3-2) 仕事についての考え方 (問 11 から問 18)

問 14 (就業時間の不規則な仕事に就きたくない)では日本人が負荷の高い仕事を嫌うのに対して、留学生はどのような仕事でもする意志があることを示している。また、問 16 (将来、自分で会社を興してみたい)では、94%の留学生が肯定的に考えているのに対して日本人学生は40%にとどまった。この傾向は、高校生の未来意識に関する調査²⁾で中国では「会社経営者」、「会社の管理者」を希望する高校生が多かったことと一致している。問 18 (自分に合った仕事につける可能性は高い)も傾向が異なるが、これは、日本の就職状況の悪さが影響していることと共に、留学生は学位を取得して帰国すれば有利な就職状況があるためと思われる。

問 11 (自分の就きたい仕事について明確なイメージをもつ)では、日本人の45%が明確なイメージを持っていなかった。職業についてのイメージがあまり固まっていないということであるが、これも就職状況から理解することができる。

3-3) 仕事の報酬についての考え方 (問 19 から問 26)

問 19 (学歴が高いほど、多くの収入がもらえるべき)から、留学生は学歴に応じた報酬を期待している一方、日本人学生は学歴と報酬とは一致しないと考えていることがわかる。日本は高学歴社会のため、単に学歴が高いからといって、収入が多いことに直結するとは考えていないのであろう。問 26 (報酬の高い仕事が見つければすぐに転職したい)に対して、日本人学生は消極的な回答をしているが、これは、これまでの日本は転職の少ない社会だったことによるものと思われる。

3-4) 人生観などについて (問 27 から問 40)

問 27 (私は他人にはない特技を持っている)は、自己を肯定的に評価しているかどうかに関する問であるが、肯定的に評価している日本人学生は28%、留学生は77%と大きな違いがみられた。問 29 (責任が重くなっても、地位や名誉を得たい)からは、重い責任を背負いたくないという最近の日本の学生の風潮を表していることが分かる。問 31 (良い成績をとらないと親が親戚、知人に恥ずかしい思いをする)では、70%近い留学生が肯定的に思っており、この数は日本人学生の2倍以上である。これは、留学生と日本人学生が持っている家族意識が大きく異なっていることによるものと思われる。

さて、アンケートに用いた問 27、問 29、問 30 (高い教育を受ければ威張って生きてゆける)、問 31、問 33 (この世の中では多少の賄賂を贈るのはやむを得ないこと)、問 34 (他人より少しでも給料の高い仕事に就きたい)の質問は、日本・米国・中国の中学生・高校生の日常生活に関する調査⁵⁾において、日本人と中国人とで大きな差が現れた質問と同じ内容のものである。大学生を対象とした今回の調査においても、肯定的な答えをした割合についての差を日本人学生と留学生とで求めると、全ての問に対して中学・高校生の調査結果と同じ傾向になった。アンケート調査に答えた留学生の約90%が中国人であることから、この結果は納得のいくものである。

4 自己組織化マップ (SOM) による 個々の学生の分類

ここでは、自己組織化マップ (SOM: Self-Organizing Maps)⁶⁾ を用いて、各々の学生の類似性を調べ、図示することを試みる。SOM は、多次元の入力データを入力データ相互の距離関係ができるだけ保ちながら 2 次元平面に写像する計算方法をとっている。このため、入力データは、類似性の強い順に隣り合わせに配置されることになる。SOM を用いると、直感的には把握しづらい多次元のデータから、顕在化していない特徴を見だし、データを分類することができる。この特徴を利用して、私達の研究グループは、「生活指標に基づく都道府県の類型化」や「自己組織化マップを用いた多面的価値観の国際比較」について調べた。⁷⁾

今回の調査では、合計 40 個の間があるので、各々の学生の回答は 40 次元のベクトルで表現さ

れる。ベクトルの各成分の値は 1, 2, 3, 4 のいずれかである。調査した学生が 162 名いるので、40 次元のベクトルが 162 組存在することになり、これらが SOM への入力ベクトル (入力データ) になる。回収した 162 名の回答には、数問未回答 (未記入) のものも含まれている。この場合、該当するベクトルの成分には、数値の代わりに空白が入っている。SOM は空白の成分を含んだ入力ベクトルが存在する場合でも計算を行うことができる。空白の数だけ次元を減少させて計算を行うのである。この場合には、40 から空白の数だけ引いた次元を用いて他の入力ベクトルとの距離を計算するのである。SOM で計算した結果を図 2 に示す。この計算には、Viscovery SOMine⁸⁾ を用いた。図 2 は、162 名を 5 つのグループに分類したものである。図に記入されている数字は調査学生の番号に対応しており、1 から 48 は留学生、49 から 162 は日本人学生である。表 1 に、それぞれのグループに属する人数を示す。グループ G1 には

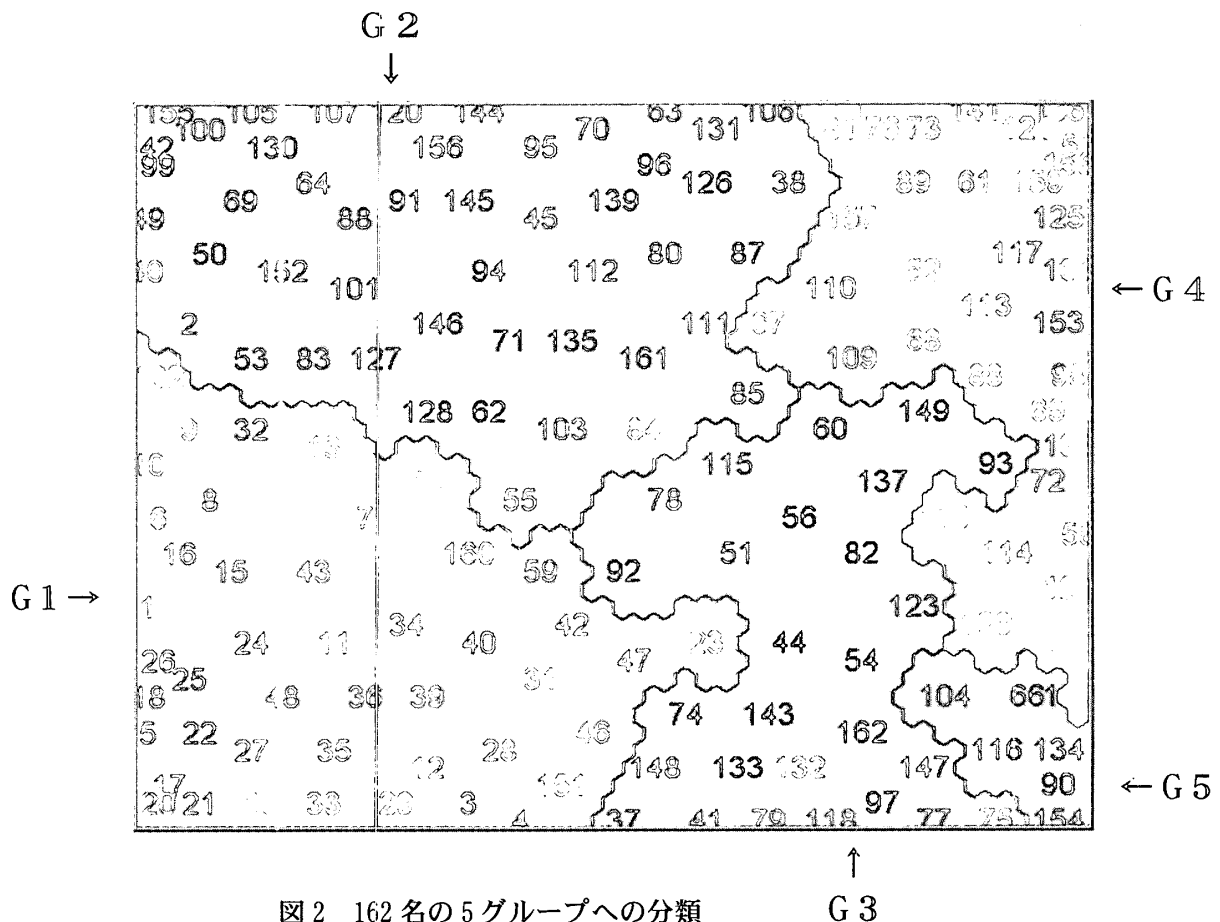


図2 162名の5グループへの分類

G 3

表1 5個のグループの構成員

グループ	属する学生数(名)		
	留学生	日本人学生	計
G1(7等が属す)	42	4	46
G2(94等が属す)	3	46	49
G3(56等が属す)	3	24	27
G4(110等が属す)	0	34	34
G5(104等が属す)	0	6	6
計	48	114	162

7番目の学生を始め46名が属し、この内、留学生は42名、日本人学生は4名である。留学生はG2とG3に3名ずつ属しており、G4及びG5には属していない。

問1から問40までの各問に対して、SOMでグループ分けしたグループG1～G5について、それぞれのグループ毎の平均値、標準偏差値等を求めることができる。付録2には、各々のグループの各問毎の平均値と162名全体の平均値が掲載されている。各グループが持っている特徴を調べるため、各問毎に標準量((グループの平均値-全体の平均値)・標準偏差値)を求めた。これらの値と、図2を比較しながら、各グループ毎の特徴を次のように述べることができる。

G1: 現在の学習意欲、将来の学習意欲、就職に対する問の答えがすべて肯定的なので、意欲が高く、何事にも積極的なグループ。ほとんどの留学生が所属。また、このグループのほとんどの学生は、問31(良い成績をとらないと親が親戚、知人に恥ずかしい思いをする)に肯定的に答えており、これは多くの日本人学生にはない特徴。

G2: 現在の勉学に対してはそれなりに意欲があるが、問6(大学院に進んで、もっと専門的なことを勉強したい)、問7(社会人になっても、必要があれば大学でもう一度学ぶ)、問34(他人より少しでも給料の高い仕事に就き

たい)の点が低く、問13(給料が高い仕事より、自分のしたい仕事を選ぶ)、問36(仕事より家庭が大切だ)の点が高いグループ。G1のグループと比較して、将来の勉学や仕事に対して積極性が少ないグループと言える。

G3: 勉学意欲はそれほど高くなく、問20(勤めた年数が長いほど、多くの収入がもらえるべき)の点が高く、問28(将来の成功は今の努力で決まる)の点が低いグループ。年功序列的な給与を希望し、生き方に対してやや積極性に欠けるグループ。

G4: 問20(勤めた年数が長いほど、多くの収入がもらえるべき)、問23(休暇は取れる日数をすべて消化しないと損だ)、問35(将来のことを考えるよりも、今を楽しみたい)、問37(仕事よりも家庭が大切)の点が高く、仕事よりも自分の時間を大切にしたいと思っているグループ。

G5: 問38(社会のために貢献したい)、問39(自分が正しいと思ったら、多くの反対があっても自分の意見を通したい)、問40(自分で選択したり、決定したりしたことの結果の責任はすべて自分にある)の点が低く、自己責任をとらず、全般的に意欲が低いグループ。

5 因子分析

問1から問40までの全データを用いて因子分析を行った。固有値が1以上の因子は全部で6個あり、それぞれの因子の固有値、寄与率(%), 累積(%)が表2に示してある。また、付録3には、各問に対する因子負荷量が示してある。第6因子までの累積寄与率は36%で、このモデルで十分説明できるわけではないが、おおよそ次のように述べることができる。

表2 因子の固有値, 寄与率, 累積

因子	固有値	寄与率 (%)	累積 (%)
1	6.129	15.3	15.3
2	2.548	6.4	21.7
3	2.216	5.5	27.2
4	1.295	3.2	30.5
5	1.151	2.9	33.3
6	1.036	2.6	35.9

因子1: 学習意欲、仕事への意欲の高さを表すこの因子では、問6(大学院に進んで、もっと専門的なことを勉強したい)、問16(将来、自分で会社を興してみたい)の得点が高く、問35(将来のことを考えるよりも、今を楽しみたい)、問14(就業時間の不規則な仕事には就きたくない)の得点が低い。

因子2: 自己責任に対する意識は高いが、職業決定に対する展望が小さい
問40(自分で選択したり、決定したりしたことの結果の責任はすべて自分にある)、問17(就職先を見つけるのは難しい)、問36(仕事よりも家庭が大切だと思う)の得点が高く、問6(大学院に進んで、もっと専門的なことを勉強したい)、問26(報酬の高い仕事が見つければすぐに転職したい)の得点が低い。

因子3: 職業に対する明確なイメージが形成されていない
問20(勤めた年数が長いほど、多くの収入がもらえるべきだ)、問26(報酬の高い仕事が見つければすぐに転職したい)の得点が高く、問13(給料が高い仕事より、自分のしたい仕事を選びたい)、問18(自分にあった仕事につける可能性は高い)、問11(自分の就きたい仕事について明確なイメージをもっている)の得点が低い。

因子4: 競争的達成動機が強く、自分の意志を尊重する

問30(高い教育を受ければ威張って生きていける)、問25(将来的に安定していれば、報酬は少なくてもいい)、問39(自分が正しいと思ったら、多くの反対があっても自分の意見を通したい)の得点が高く、問34(他人より少しでも給料の高い仕事に就きたい)、問1(大学では幅広い教養を身につけたい)の得点が低い。

因子5: 今を楽しく暮らしたい

問37(仕事よりも自分の時間が大切だ)、問35(将来のことを考えるよりも、今を楽しみたい)の得点が高く、問31(良い成績をとらないと親が親戚、知人に恥ずかしい思いをする)、問15(肉体労働のような仕事には就きたくない)の得点が低い。

因子6: 変化を望まず、社会への協調性が高い

問20(勤めた年数が長いほど、多くの収入がもらえるべきだ)、問38(社会のために貢献したい)の得点が高く、問10(講義を選択するとき興味の湧く科目を選択したい)、問34(他人より少しでも給料の高い仕事に就きたい)の得点が低い。

6 おわりに

私達は、「大学教育についての考え方」、「仕事についての考え方」、「仕事の報酬についての考え方」、「人生観などについて」についてのアンケート調査を行い、留学生と日本人学生を比較し、「考え方」や「意識」の違いについて見てきた。両者を比較すると、留学生の方が自己を肯定的に評価し、積極的・肯定的な生き方をしていることが伺える。他方、日本人学生はゆとり感があるように思える。このことは、留学生の母国が発展途上の社会であるのに対して日本は成熟した社会であることを反映しているものと考えられる。留学生と日本人学生を比較して差が際だって大きいものに、良い成績をとらないと親が親戚、知人に恥ずかしい思いをするがある。家族意識の差によるものと思われるが、これは、大学が保護者(親)と緊密に連絡を取り合い、相互の情報をより多く交

換する必要があることを示唆している。

今回のアンケート調査で得た結果は、日本青少年研究所やアジア女性交流・研究フォーラムが行った調査結果^{2), 3), 5), 9)}と概ね同じ傾向を持っており、母国で持っていた価値観を保持していることが分かった。

SOMを用いて、学生をG1からG5に分け、それぞれのグループが持っている特徴を見た。G1は、人生・生き方、職業、余暇に対して関心性、自立性、計画性があり、成人キャリア熟成尺度¹⁰⁾が高いグループ、G5は自己責任をとらず、意欲が全般的に低いグループであった。SOMの大きな特徴は、類似性の強いデータを隣り合わせに並べることができることである。例えば、図2において17, 20, 21の人は類似性が強く、この3人は121の人とは大きくかけ離れていることを示している。SOMは、グループ分けに加えて、一人一人の学生の類似性が表現できるので、SOMを活用することにより、よりきめ細かな学生対応が行える可能性があると言える。

因子分析によって、学習意欲、仕事への意欲の高さを表す因子、変化を望まず、社会への協調性の高さを表す因子等6個の因子を得た。この結果を有効に利用するために、SOMと組み合わせることが考えられ、これは今後の課題とする。

今回の調査から意欲に関しては大きな差があることが分かった。学力・理解力等がどうなのかが気になるところである。これらも調査し、必要に応じて、意欲や学力に応じたクラス編成、自主的な学習を促すようなマルチメディア教材の活用等が求められると思われる。

この研究の研究費の一部は、呉大学共同研究推進資金(FDの推進とマルチメディア機器を利用した授業の改善、教材開発の研究)の援助を受けた。ここに、記して感謝する。

文 献

- 1) 留学生政策懇談会(文部科学省), 1999, 知的国際貢献の発展と新たな留学生政策の展開を目指してーポスト2,000年の留学生政策ー
- 2) 日本青少年研究所編, 2002, 高校生の未来意識に関する調査
- 3) 日本青少年研究所編, 1999, 大学生の職業に関する意識調査報告書
- 4) トロウ M., 天野郁夫, 喜多村和之訳 1976, 「高学歴社会の大学」, 東京大学出版会
- 5) 日本青少年研究所編, 2000, 中学生・高校生の日常生活に関する調査報告書ー日本・米国・中国の3カ国の比較ー
- 6) T.Kohonen, 1997, Self-Organizing Maps Second Edition, Springer.
コホネン T., 徳高平蔵・岸田悟・藤村喜久郎訳 1996, 「自己組織化マップ」, シュプリンガー・フェアラーク東京.
- 7) 井上正人, 前原俊信, 岡隆光, 菅原通雅, 2001, 生活指標に基づく都道府県の類型化ー自己組織化マップによる多元評価の試みー, 社会情報学研究(日本社会情報学会), 5, 31-42.
岡 隆光, 井上 正人, 前原 俊信, 2001, 自己組織化マップを用いた多元的価値観の国際比較, 社会情報学研究(呉大学社会 情報学部研究紀要), 7, 25-35
- 8) Eudaptics 社編, 1999, Viscovery SOMine Version 3.0, Eudaptics software gmbh.
- 9) 中国社会科学院社会学研究所, 1994, 現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究ー北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較ー, (財)アジア女性交流・研究フォーラム
- 10) 板柳恒夫, 1999, 成人キャリア熟成尺度, 心理測定尺度集Ⅱ, サイエンス社 pp. 339-344.

付録1 アンケート調査質問項目（抜粋）

a) 大学教育についての考え方

問1 大学では幅広い教養を身につけたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問2 大学では深い専門知識を身につけたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問3 講義による知識よりも、演習などによる実技的な能力を身につけたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問4 現在受けている大学での教育は、就職後役立つと思いますか？

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ほとんど役に立たない | 3. やや役に立つ |
| 2. あまり役に立たない | 4. 非常に役に立つ |

問5 資格などのために大学以外の学校で勉強してみたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問6 大学院に進んで、もっと専門的なことを勉強したいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問7 社会人になっても、必要があれば大学でもう一度学びたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問8 大学でのセミナー、講義、演習の他に興味を持って勉強してみたいことがありますか？

- | | |
|-----------|----------|
| 1. ほとんどない | 3. ややある |
| 2. あまりない | 4. 非常にある |

問9 講義を選択するとき単位の取りやすい科目を選択したいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問10 講義を選択するとき興味の湧く科目を選択したいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

b) 仕事についての考え方

問11 自分の就きたい仕事について明確なイメージを持っていますか？

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. ほとんどもっていない | 3. ややもっている |
| 2. あまりもっていない | 4. はっきりもっている |

問12 時間がかかっても自分のしたい仕事を探したいと思いますか？

- | | |
|-------------|---------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
|-------------|---------|

2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 13 給料が高い仕事より、自分のしたい仕事を選びたいと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 14 就業時間の不規則な仕事には就きたくないと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 15 肉体労働のような仕事には就きたくないと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 16 将来、自分で会社を興してみたいと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 17 就職先を見つけるのは難しいと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 18 自分にあった仕事につける可能性は高いと思いますか？

1. ほとんどない 3. やや高い
2. あまりない 4. 非常に高い

c) 仕事の報酬についての考え方

問 19 学歴が高いほど、多くの収入がもらえるべきだと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 20 勤めた年数が高いほど、多くの収入がもらえるべきだと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 21 能力が高いほど、多くの収入がもらえるべきだと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 22 仕事に関係する資格があれば、より多くの収入がもらえるべきだと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 23 休暇は取れる日数をすべて消化しないと損だと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 24 自分に合った仕事であれば、報酬は少なくてもいいと思いますか？

1. ほとんど思わない 3. やや思う
2. あまり思わない 4. 非常に思う

問 25 将来的に安定していれば、報酬は少なくてもいいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 26 報酬の高い仕事が見つければすぐに転職したいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

d) 人生観などについて

問 27 私は他人にはない特技を持っているとおもいますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 28 将来の成功は今の努力で決まると思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 29 責任が重くなっても、地位や名誉を得たいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 30 高い教育を受ければ威張って生きていけると思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 31 良い成績をとらないと親が親戚、知人に恥ずかしい思いをしますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 32 みんなと一緒に悪いことをしても責任が軽くなると思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 33 この世の中では多少の賄賂を贈るのはやむを得ないことだと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 34 他人より少しでも給料の高い仕事に就きたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 35 将来のことを考えるよりも、今を楽しみたいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 36 仕事よりも家庭が大切だと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 37 仕事よりも自分の時間が大切だと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 38 社会のために貢献したいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 39 自分が正しいと思ったら、多くの反対があっても自分の意見を通したいと思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

問 40 自分で選択したり、決定したりしたことの結果の責任はすべて自分にあると思いますか？

- | | |
|-------------|----------|
| 1. ほとんど思わない | 3. やや思う |
| 2. あまり思わない | 4. 非常に思う |

付録2 SOMで分類したグループ毎の平均値と全体平均値

	G1	G2	G3	G4	G5	全体平均
問 1	3.83	3.51	2.37	2.97	2.50	3.26
問 2	3.89	3.37	2.74	3.26	2.17	3.35
問 3	3.41	3.33	2.78	3.00	1.83	3.14
問 4	3.52	2.65	2.48	2.12	1.67	2.72
問 5	3.39	2.86	2.85	2.47	1.83	2.89
問 6	3.69	1.71	2.70	1.44	2.50	2.40
問 7	3.35	2.14	2.96	1.62	2.50	2.52
問 8	3.53	3.14	2.52	2.26	2.17	2.93
問 9	3.09	2.94	2.85	3.12	2.50	2.99
問10	3.87	3.47	2.77	3.21	2.67	3.39
問11	3.48	2.69	2.67	2.03	2.50	2.77
問12	3.61	3.24	3.26	2.32	2.17	3.12
問13	3.26	3.41	3.04	2.29	2.83	3.05
問14	1.80	3.08	3.04	2.79	2.17	2.61
問15	2.39	2.71	2.81	2.76	1.67	2.61
問16	3.72	2.22	2.67	2.09	1.67	2.67
問17	2.89	3.39	2.96	3.29	2.17	3.11
問18	3.02	2.16	2.37	1.82	2.83	2.40
問19	3.30	1.76	2.93	2.26	2.17	2.51
問20	2.74	2.47	3.04	3.09	2.50	2.77

	G1	G2	G3	G4	G5	全体平均
問21	3.93	3.39	3.00	3.09	1.83	3.36
問22	3.20	3.10	2.70	3.06	3.67	3.07
問23	2.93	3.06	2.63	3.41	2.83	3.02
問24	2.93	2.88	2.70	2.03	2.33	2.67
問25	2.89	2.82	2.78	2.50	2.00	2.73
問26	2.87	1.98	2.67	2.53	3.33	2.51
問27	2.96	2.10	2.63	1.94	1.83	2.39
問28	3.74	3.10	2.56	2.56	2.83	3.07
問29	3.30	2.31	2.48	2.35	1.67	2.60
問30	1.98	1.38	2.26	1.50	1.50	1.73
問31	3.17	1.98	2.56	1.73	2.00	2.37
問32	1.30	1.47	2.15	1.85	2.00	1.64
問33	2.42	1.78	2.00	2.30	2.50	2.13
問34	3.43	2.39	2.56	2.82	2.50	2.81
問35	2.04	2.69	2.74	3.03	2.00	2.56
問36	3.22	3.29	2.78	2.79	1.83	3.02
問37	2.58	3.00	3.00	3.18	1.83	2.88
問38	3.37	3.04	2.89	2.44	1.67	2.93
問39	3.26	3.16	2.74	2.68	1.50	2.96
問40	3.76	3.65	2.93	3.62	1.67	3.48

付録3 因子負荷量

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6
問 1	0.491	0.305	0.025	-0.293	-0.116	0.245
問 2	0.525	0.258	0.222	-0.122	-0.238	0.064
問 3	0.325	0.291	0.034	-0.053	-0.151	0.171
問 4	0.552	0.080	0.056	-0.017	-0.115	0.129
問 5	0.320	0.075	-0.113	0.026	-0.005	-0.062
問 6	0.638	-0.402	-0.020	0.204	-0.165	-0.058
問 7	0.499	-0.303	-0.142	0.201	-0.168	-0.123
問 8	0.574	0.200	-0.236	-0.039	0.112	-0.127
問 9	0.051	0.129	0.373	-0.063	0.313	-0.098
問10	0.466	0.388	0.110	-0.062	-0.095	-0.283
問11	0.514	-0.109	-0.259	-0.113	0.211	-0.064
問12	0.531	0.114	-0.073	0.049	0.178	-0.050
問13	0.317	-0.020	-0.407	0.223	0.188	-0.099
問14	-0.233	0.182	0.284	0.188	-0.070	0.148
問15	0.013	0.121	0.230	0.314	-0.248	-0.145
問16	0.634	-0.162	0.095	0.064	0.081	0.001
問17	-0.136	0.440	0.237	0.046	0.088	-0.150
問18	0.542	-0.298	-0.264	-0.052	0.176	0.050
問19	0.394	-0.226	0.412	-0.063	0.036	0.222
問20	-0.040	-0.106	0.423	0.053	0.289	0.336

	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6
問21	0.411	0.278	0.046	0.007	0.201	0.000
問22	0.190	0.159	0.323	-0.030	0.078	0.163
問23	-0.076	0.287	0.405	0.012	0.096	-0.157
問24	0.303	0.121	-0.151	0.335	0.101	0.250
問25	0.190	0.193	0.088	0.351	-0.237	0.233
問26	0.234	-0.376	0.422	-0.163	0.129	-0.136
問27	0.403	-0.254	-0.164	0.029	0.364	0.086
問28	0.575	0.134	0.097	-0.179	0.034	-0.051
問29	0.540	-0.077	0.111	-0.083	0.015	-0.154
問30	0.265	-0.294	0.354	0.354	-0.019	-0.041
問31	0.574	-0.164	0.177	0.050	-0.278	0.018
問32	-0.098	-0.288	0.305	0.182	0.091	0.104
問33	0.203	-0.243	0.324	0.244	0.108	-0.211
問34	0.399	-0.039	0.324	-0.340	-0.123	-0.259
問35	-0.350	0.215	0.182	0.134	0.361	-0.106
問36	0.227	0.399	0.029	-0.028	0.203	0.175
問37	-0.149	0.289	0.041	0.298	-0.001	-0.147
問38	0.399	0.199	-0.104	0.029	0.024	0.329
問39	0.341	0.274	-0.135	0.350	0.059	-0.099
問40	0.256	0.510	-0.119	0.117	0.030	-0.157